



# The Rotary Club 06 Hamamatsu Siyou Weekly Report 浜松志耀ロータリークラブ 週報

## 浜松志耀ロータリークラブ 第68回例会

開催日時: 2025年11月27日(木) 11:00 ~ 12:30

開催場所: 万斛庄屋敷 鈴松庵

### ■ 会長挨拶 衛藤会長

ロータリアンのみなさんこんにちは。本日は、お久しぶりにこちら万斛庄屋敷「鈴松庵」での例会となります。

令和6年3月9日、こちら万斛庄屋敷「鈴松庵」を含む公園施設は開場しました。小澤邦比呂創立会長の会社(松川電気株式会社)が、浜松市より委託を受け、資金を投じて、地域の憩いの場として整備し開場に至りました。私たち志耀RCが、例会会場として、初めてこちら鈴松庵を使わせていただいたのが、昨年令和6年1月11日でした。当時の、小澤邦比呂会長の挨拶を拝見しますと、ちょうど、新年早々発生した能登半島沖の地震についてのお見舞いを述べられております。そして、続けて引用させていただきますと、

(引用始)『人生は邂逅と謝念である』といいます。これは出会いを喜び、感謝するという意味です。邂逅とは人生で一回あるかないかの出会いのことですが、私達は日常生活の中に日本人として『おかげさま、ありがとう』という感謝の心が、命のつながりとして代々綿々と継承されてきているのだと感じます。「人の人生には有難い出会いがあり、貴重な出会いによって幸福がもたらされたり、人生や自身が大きく変わっていくことがある。もしこのときこの人に会わなければ、自分がどうなっていたらと思うことがある。そこに生ずるのが謝念である。」亀井勝一郎の言葉です。謝念(感謝の心)は、良き出会い、その瞬間を大切にし、人間関係の縁を噛みしめるところから出てきます。その『謝念』の気持ちは、まず相手を理解し、相手の希望・思いに寄り添うことから生まれてきます。(中略)ロータリークラブ、そしてロータリー活動はまさに、『邂逅と謝念』、出会いを喜び、感謝の心を育てる道場だと感じます。(引用終)

全くその通りです。どうして私たちはロータリーに入っているのか。言うまでもなく、「出会い」とは、初めての出会いばかりに止まりません。同じメンバーであっても、久方ぶりに顔を合わせるときも、毎回何度も顔を合わせるときも、仕事で相談するときも、プライベートで会うときも、偶然浜松磐田信用金庫蛸塚支店で新しいフェアレディZを見かけたと思ったら吉野会員に出くわしたというときも、すべて「出会い」です。さらに付け加えて、その「出会い」を人生で一回あるかないかの出会い(邂逅)とするのかどうか、自分次第です。大谷祥平選手と会って話をしたから、その人の人生がその日から180度変わるという訳ではありません。むしろ、何度でも顔を合わせ、共に汗をかき、対立や反目があったとしても何度でも赦し合い、共通の目標に向かって励まし合い、ゆっくりと長い時間をかけてでも、艱難辛苦を乗り越えていく「出会い」こそが、邂逅と呼ぶべき、人生に『一回』の出会いではないかと思えます。

今日の議事では、ロータリーの行動計画、当クラブの3年間の目標について、小澤邦比呂委員長を中心として、みなさんと協議をいたします。ざばり今日のテーマは「絆」です。ロータリーを通しての「邂逅」そして「謝念」の気持ちに今一度立ち返り、さらけ出しましょう。困難なときを共に乗り越えてこそ絆は深く強くなります。

本日もよろしくお願いいたします。

### ■ 幹事報告 西川幹事

1. 例会終了後、理事会を開催します。
2. 次回の例会は望年会です。会費7,000円をお願いします。

### ■ 報告事項

#### ゴルフ同好会 衛藤会員

11月22日に当クラブがホストで、第5グループのゴルフコンペを開催しました。

### ■ 誕生日 リビー会員、種村会員、平出会員、村田会員

おめでとうございます。

### ■ 議事 1. 会員増強委員会 加茂委員長

- ・入会申込書を作成しました。会員増強の目標に向かい頑張りましょう。
- ・昨年、浜名湖RCで卓話をした「ドローンのビジネスへの活用」についてお話をいただきました。

### 議事 2. 長期戦略委員会 小澤委員長

- ・当クラブの今後3年間の活動目標は「ロータリーの理念を学び自らの成長につなげる」です。

- ①もっとロータリーを知ろう  
企業経営などの勉強会を行っていきたい
- ②もっとロータリーの奉仕を進めよう  
地域の子どもたちに寄り添う活動を続けていきたい
- ③もっと会員拡大を進めよう  
一人が一人を誘っていききたい

### ■ スマイル

- ①衛藤会長・西川幹事ー伊藤さんへ見学の御礼
- ②山本会員ー伊藤さんへ見学の御礼、弊社のイベントの告知

※ビジター1名(伊藤嘉奈子さん)

※出席率: 54 % (会場 17名 + BAND 0 = 17名 / 31名)

